

研究課題(テーマ)		ロボットコンテストへの挑戦環境の整備	
研究者	所属学科等	職	氏名
代表者	知能ロボット工学科	教授	神谷和秀
	知能ロボット工学科	教授	岩井学
研究結果の概要			
<p>ロボットコンテストに関しては、昨年度に引き続き2足歩行ロボットによるサッカー大会に関する環境整備を行った。目的とする大会の規定に沿った市販のロボットキットを購入し、組み立て・調整を行った。並行して昨年までは中京大学のシステムを利用していたロボットの遠隔操作システムについて、本学で製作した無線システム(回路・ソフトウェア)に置き換えることができた。滋賀ダイハツハリナ(滋賀県大津市)で開催されたロボカップジャパンオープン2023に初参戦したが、ロボットの目となる画像処理システムと本学オリジナルの戦略実行プログラムとの連携トラブルで残念ながら試合にはならなかった。</p> <p>ドローンコンテストに関しては、とやま学生交流ドローン競技会(11/4(土)、富山大学 五福キャンパスにて開催)に3年生3名がチームを結成して出場した。競技会には県内の高等教育機関や工業高校が参加した。プログラミングによる自動飛行で、コースに設定された障害物を避けて飛行し、観察エリアに設置された対象物を測定してから帰還する内容で競技が行われた。参加チームは3位に入賞した。大会は今後も継続される予定であり、本学科から継続して出場する予定である。</p>			
今後の展開			
<p>学生が自主的にロボットコンテストへ参加できる環境整備と指導を今後も継続的に行う。また、大会へ継続して参加し続けるためには、学生の費用負担の問題が壁となる。この問題に対しては、学生の活動を応援してもらえらる企業スポンサーを募集することで解決していきたい。</p>			